

基本情報	コード	名称	事業類型	I	ソフト事業	会計区分コード	01	07	01	02	329	51
	事業名	0483-1 商工業振興経費	所属	コード	名称	連絡先(記入者)						
	基本施策	45 住み人にとって魅力ある商店・商店街をつくる	160500	産業振興部商工労働課	福森 靖 43 - 2306							

概要	事業概要	伊賀市の商工業の振興・発展のため、関係機関や中小小工業者に対し支援を行う。						事業期間					
	根拠法令・要綱等	審議会・委員会等						平成	16	年度	～	平成	年度
	補助金支出	<input type="checkbox"/> 有	※支出“有”の場合要綱を記入 産業振興部関係補助金等交付要綱						分掌事務番号	1	4	5	
	対象(誰を、何を)	商工会議所、商工会、市内中小小工業者						※対象件数					
	成果(どうする)	商工会議所及び商工会を通じ商工業の育成と振興を図ることにより商工業が活性化される。また、中小小工業者に対し、事業資金借り入れに伴う保証料や借入利子の一部を補助することにより、経営基盤の安定化を目指す。											
H24 実施内容	<ul style="list-style-type: none"> * 中小小工業者支援として事業資金借入の保証料などの一部に対し補助を実施したほか、商工関係団体の相談業務に対し支援を行った。 * 市民夏のにぎわいフェスタ時に産業展を開催するにあたり補助を行った。 * 商工関係団体が実施する事業に対し補助を行った。 												

指標	活動指標	項目	単位	実績値				目標値		説明
				H23		H24		H25	H26	
	成果指標	中小小工業者指導件数	件	目標	12,000.0	目標	12,000.0	12,000.0	12,000.0	
				実績	13,361.0	実績	13,265.0			
成果指標	商工会議所・商工会会員数	人	目標	2,490.0	目標	2,400.0	2,400.0	2,400.0		
			実績	2,333.0	実績	2,341.0				

コスト	項目	コスト(千円) ※基金の充当はしないでください。							特記事項記入欄(特定財源の名称等)		
		H23決算額	H24決算額	H25当初額	H26計画額	H27計画額	H28計画額	H29計画額			
	[収入]	使用料・手数料									
		国費 (補助率)									
		県費 (補助率)									
		地方債									
		その他									
		合計(A)	0	0	0	0	0	0	0	特記事項記入欄(積算基礎等)	
	[支出]	事業費	商業後継者育成事業委託料	150	150	300	300	300	300	300	
			中小企業相談業務負担金	4,000	4,000	4,000	4,000	4,000	4,000	4,000	
商工会議所事業費補助金			2,000	2,000	2,000	2,000	2,000	2,000	2,000		
中小企業振興事業資金利子補給補助金			153	147	140	140	140	140	140		
小規模事業資金融資制度保証料補助金			9,422	7,259	9,650	10,000	10,000	10,000	10,000		
商工会事業費補助金			26,500	26,500	26,500	26,500	26,500	26,500	26,500		
地域振興活性化事業費補助金			900	900	900	900	900	900	900		
地域活性化センター運営補助金			0	2,000	2,300	2,000	2,000	2,000	2,000		
			その他事務経費								
			小計(B)	43,125	42,956	45,790	45,840	45,840	45,840	45,840	特記事項記入欄(有資格者の状況等)
[収支]	人件費	正規職員	人数	1.0人	1.0人	1.0人	1.0人	1.0人	1.0人		
			人件費	5,682	5,777	5,777	5,777	5,777	5,777	5,777	
		臨時・嘱託・再雇用職員	人数								
			人件費								
	小計(C)	5,682	5,777	5,777	5,777	5,777	5,777	5,777			
	合計(D=(B+C))	48,807	48,733	51,567	51,617	51,617	51,617	51,617	特記事項記入欄(歳入確保の取組等)		
	一般財源充当額(D-A)	48,807	48,733	51,567	51,617	51,617	51,617	51,617			
	(うち繰越金)										
	※前年度比	—	△ 74	2,834	50	0	0	0			
	対象者あたり一般財源充当額										

必要性	3. 特定の市民や団体を対象としたサービスであるが、サービスの提供を通じて対象者以外の第三者にも利益が及ぶ事業		
有効性	※廃止したときの影響	達成度	※未達成事項記入欄
	中小企業の育成が図れない。	(概ね) 順調	
関与の妥当性	協働の状況など		
実施方法 (該当するもの全て)	<input type="checkbox"/> 委託・指定管理(公募・競争)	<input type="checkbox"/> 負担金・補助金・交付金	※委託内容及び委託先の存在
	<input checked="" type="checkbox"/> 委託・指定管理(非公募・随意)	<input type="checkbox"/> 直接実施(契約・交付事務を除く)	商業後継者育成のためのソフト事業 上野商工会議所
昨年度記載した改善策	補助対象を精査する必要があることから、商工会と協議を行う。	左記改善策への取組状況	【状況】 【詳細】 計画のとおり進んでいない。 商工会事務局長と協議を実施した。
現時点における課題及び課題に対する改善策	補助対象を精査する必要がある。各団体と定期的に懇談を実施する。		
今後の方向性	担当課長氏名	方向性	理由
	船見 くみ子	現状維持	引き続き、関係団体と懇談を行いながら中小企業の育成支援を行う必要があるため。

基本情報	コード	名称	事業類型	I	ソフト事業	会計区分コード	01	07	01	02	329	51
	事業名	0483-2 商工業振興経費(特産品振興協議会補助金)	所属	コード	名称	連絡先(記入者)						
	基本施策	45 住み人にとって魅力ある商店・商店街をつくる	160500	産業振興部商工労働課	福森 靖 43 - 2306							

概要	事業概要	地域特産品の振興を図る。				事業期間					
	根拠法令・要綱等					審議会・委員会等					
	補助金支出	有	※支出“有”の場合要綱を記入 産業振興部関係補助金等交付要綱				分掌事務番号 4				
	対象(誰を、何を)	地域の生産者および販売者				※対象件数	単位	H23実績	H24実績	H25見込	H26目標値
	成果(どうする)	特産品の振興				団体	13	13	13	13	
	H24実施内容	特産品振興のため、各種イベントへの参加等に対し、いがまち特産品振興協議会へ支援を行った。									

指標	活動指標	イベントへの出店回数	回	実績値		目標値		説明
				H23	H24	H25	H26	
	成果指標	道の駅いがでの売上高	千円	目標	35,000.0	目標	26,000.0	H24～特産品振興協議会の特産品のみのみ
				実績	25,830.0	実績	25,616.0	

コスト	コスト(千円) ※基金の充当はしないでください。									
	[収入]	項目	H23決算額	H24決算額	H25当初額	H26計画額	H27計画額	H28計画額	H29計画額	特記事項記入欄(特定財源の名称等)
		使用料・手数料								
		国費(補助率)								
		県費(補助率)								
		地方債 その他								
	合計(A)	0	0	0	0	0	0	0	特記事項記入欄(積算基礎等)	
	[支出]	事業費	特産品振興協議会補助金	350	350	350	350	350	350	
		その他事務経費								
		小計(B)	350	350	350	350	350	350	350	特記事項記入欄(有資格者の状況等)
人件費		正規職員	人数	0.2人	0.2人	0.2人	0.2人	0.2人	0.2人	
	人件費	1,136	1,155	1,155	1,155	1,155	1,155	1,155		
	臨時・嘱託・再雇用職員	人数	人	人	人	人	人	人		
	人件費									
	小計(C)	1,136	1,155	1,155	1,155	1,155	1,155	1,155		
	合計(D=(B+C))	1,486	1,505	1,505	1,505	1,505	1,505	1,505	特記事項記入欄(歳入確保の取組等)	
[収支]	一般財源充当額(D-A) (うち繰越金)	1,486	1,505	1,505	1,505	1,505	1,505	1,505		
	※前年度比	—	19	0	0	0	0	0		
	対象者あたり一般財源充当額									

必要性	3. 特定の市民や団体を対象としたサービスであるが、サービスの提供を通じて対象者以外の第三者にも利益が及ぶ事業		
有効性	※廃止したときの影響	達成度	※未達成事項記入欄
特になし。	(概ね)順調		効率性
	※事業を行うにあたって非効率な点(実施主体、システム等)		
関与の妥当性	6. 限られた財源の中で実施すべき緊急性が認められない事務事業		協働の状況など
実施方法(該当するもの全て)	委託・指定管理(公募・競争)	○	負担金・補助金・交付金
	委託・指定管理(非公募・随意)		直接実施(契約・交付事務を除く)
			※委託内容及び委託先の存在
昨年度記載した改善策	協議会への手数料について検討するよう働きかける。		左記改善策への取組状況
			【状況】 【詳細】
			計画のとおり進んでいない。 手数料の検討について伝えていない。
現時点における課題及び課題に対する改善策	一部の地域だけへの補助であり、均衡が保たれていない。補助金廃止の方向性を探る。		
今後の方向性	担当課長氏名	方向性	理由
	船見 くみ子	縮小	協議会運営について自立を促す方向で協議を進める必要がある。

基本情報	コード	名称	事業類型	I	ソフト事業	会計区分コード	01	07	01	02	329	51
	事業名	0483-3 商工業振興経費(産業振興センター運営補助金など)	所属	コード	名称	連絡先(記入者)						
	基本施策	45 住み人にとって魅力ある商店・商店街をつくる	160500	産業振興部商工労働課	福森 靖 43 - 2306							

概要	事業概要	大山田産業振興センターの運営補助				事業期間					
	根拠法令・要綱等	審議会・委員会等				平成 16 年度 ~ 平成 年度					
	補助金支出	<input type="checkbox"/> 有	※支出“有”の場合要綱を記入 産業振興部関係補助金等交付要綱				分掌事務番号 11				
	対象(誰を、何を)	伊賀市商工会				※対象件数	単位	H23実績	H24実績	H25見込	H26目標値
	成果(どうする)	大山田地域の産業の活性化と振興が図れる。									
H24実施内容	大山田産業振興センター運営費及び高度化資金償還金を助成した。										

指標	活動指標	振興センター運営委員会開催数	回	実績値		目標値		説明	
				H23	H24	H25	H26		
	成果指標	どんぐりホール利用者数	人	目標	5.0	目標	5.0	5.0	5.0
				実績	5.0	実績	5.0	10,000.0	10,000.0

コスト	項目	コスト(千円) ※基金の充当はしないでください。							特記事項記入欄(特定財源の名称等)
		H23決算額	H24決算額	H25当初額	H26計画額	H27計画額	H28計画額	H29計画額	
	[収入]	使用料・手数料							
		国費(補助率)							
		県費(補助率)							
		地方債							
		その他							
		合計(A)	0	0	0	0	0	0	特記事項記入欄(積算基礎等)
	[支出]	産業振興センター運営助成金	4,700	4,400	4,200	4,100	0	0	0
		高度化資金償還助成金	7,450	7,450	7,331	0	0	0	0
その他事務経費									
		小計(B)	12,150	11,850	11,531	4,100	0	0	0
		合計(D=(B+C))	13,286	13,005	12,686	4,678	0	0	0
[収支]	一般財源充当額(D-A)	13,286	13,005	12,686	4,678	0	0	0	
	(うち繰越金)								
	※前年度比	—	△ 281	△ 319	△ 8,009	△ 4,678	0	0	
	対象者あたり一般財源充当額								

事後評価	必要性	3. 特定の市民や団体を対象としたサービスであるが、サービスの提供を通じて対象者以外の第三者にも利益が及ぶ事業		
	有効性	※廃止したときの影響	達成度	※未達成事項記入欄
		商工会の負担が増加する。	(概ね) 順調	
	関与の妥当性	6. 限られた財源の中で実施すべき緊急性が認められない事務事業		協働の状況など
	実施方法(該当するもの全て)	<input type="checkbox"/> 委託・指定管理(公募・競争)	<input type="checkbox"/> 負担金・補助金・交付金	※委託内容及び委託先の存在
		<input type="checkbox"/> 委託・指定管理(非公募・随意)	<input type="checkbox"/> 直接実施(契約・交付事務を除く)	
	昨年度記載した改善策	平成26年度ですべての助成を終了。	左記改善策への取組状況	【状況】 【詳細】 計画のとおり進んでいる。 管理運営する大山田産業振興センターには、平成26年度ですべての助成を終了する旨を伝えた。
現時点における課題及び課題に対する改善策	特になし。			
今後の方向性	担当課長氏名	方向性	理由	
	船見 くみ子	終期設定	助成を終了するため。	

基本情報	コード	名称	事業類型	I	ソフト事業	会計区分コード	01	07	01	02	332	51
	事業名	0485-1 中心市街地等商店街活性化事業費補助金	所属	160500	産業振興部商工労働課	連絡先(記入者)	福森 靖 43 - 2306					
	基本施策	45	住み人にとって魅力ある商店・商店街をつくる									

概要	事業概要	中心市街地の活性化を図る。				事業期間 平成 16 年度 ~ 平成 年度			
	根拠法令・要綱等	伊賀市中心市街地活性化基本計画		審議会・委員会等					
	補助金支出	<input checked="" type="checkbox"/> 有	※支出“有”の場合要綱を記入 産業振興部関係補助金等交付要綱・伊賀市中心市街地空き店舗等活用事業費補助金交付要綱			分掌事務番号	4	12	
	対象(誰を、何を)	中心市街地の商店及び商店街 商工会議所・まちづくり会社 起業家		※対象件数	単位	H23実績	H24実績	H25見込	H26目標値
	成果(どうする)	行きたくなる魅力的な商店を誘致することや、既存の商店街などの誘客活動を支援することで、中心市街地商店街の歩行者等の通行量を増加させ、にぎわいを回復させる。							
H24実施内容	* 中心市街地の各商店街等の賑わい創出事業を支援した。 * 空き店舗活用事業により、空き店舗の減少、起業家の支援を行った。								

指標	活動指標	空き家・空き店舗補助活用件数	件	実績値		目標値		説明	
				H23	H24	H25	H26		
	成果指標	歩行者通行者数	人	目標	2,000.0	目標	4,270.0	4,000.0	4,000.0
				実績	2,223.0	実績	3,259.0		

コスト	項目	コスト(千円) ※基金の充当はしないでください。							特記事項記入欄(特定財源の名称等)	
		H23決算額	H24決算額	H25当初額	H26計画額	H27計画額	H28計画額	H29計画額		
	[収入]	使用料・手数料								
		国費 (補助率)								
		県費 (補助率)								
		地方債								
		その他								
		合計(A)	0	0	0	0	0	0	特記事項記入欄(積算基礎等)	
	[支出]	中心市街地等商店街活性化事業費補助金								
		各商店街等活性化補助金	2,099	2,360	1,860	2,000	2,000	2,000	2,000	
空き店舗活用事業補助金		4,580	3,383	630	4,200	4,200	4,200	4,200		
その他事務経費										
		小計(B)	6,679	5,743	2,490	6,200	6,200	6,200	6,200	特記事項記入欄(有資格者の状況等)
人件費	正規職員	人数	2.0人	2.0人	2.0人	2.0人	2.0人	2.0人		
		人件費	11,364	11,554	11,554	11,554	11,554	11,554	11,554	
	臨時・嘱託・再雇用職員	人数								
		人件費								
	小計(C)	11,364	11,554	11,554	11,554	11,554	11,554	11,554		
	合計(D=(B+C))	18,043	17,297	14,044	17,754	17,754	17,754	17,754	特記事項記入欄(歳入確保の取組等)	
[収支]	一般財源充当額(D-A)	18,043	17,297	14,044	17,754	17,754	17,754	17,754		
	(うち繰越金) ※前年度比	—	△ 746	△ 3,253	3,710	0	0	0		
	対象者あたり一般財源充当額									

必要性	3. 特定の市民や団体を対象としたサービスであるが、サービスの提供を通じて対象者以外の第三者にも利益が及ぶ事業		
有効性	※廃止したときの影響	達成度	※未達成事項記入欄
	各商店街が実施している事業すべてが有効的ではないが、支援を廃止すれば一層中心市街が疲弊する恐れがある。	やや遅れ	歩行者通行者数
関与の妥当性	協働の状況など		
実施方法(該当するもの全て)	<input type="checkbox"/> 委託・指定管理(公募・競争)	<input type="checkbox"/> 負担金・補助金・交付金	※委託内容及び委託先の存在
	<input type="checkbox"/> 委託・指定管理(非公募・随意)	<input type="checkbox"/> 直接実施(契約・交付事務を除く)	
昨年度記載した改善策	平成25年度からの支援に対応するため、事業の見直しを促す。	左記改善策への取組状況	【状況】 【詳細】 計画のとおり進んでいる。 各商店街が実施している事業について、マンネリ化している事業について見直しをするよう指導した。
現時点における課題及び課題に対する改善策	各商店街が実施している事業について、マンネリ化している事業が未だ見受けられる。また、空き店舗が増加傾向にあり、その活用が必要である。各商店街が実施する事業について、数値目標などを設定し今後の事業計画に活かすよう取り組むと共に中心市街地に必要な店舗を誘致していく。		
今後の方向性	担当課長氏名	方向性	理由
	船見 くみ子	内容変更	空き店舗活用事業については、平成24年度までの事業検証の結果、中心市街地全体の商業の活性化に寄与していないと思われるため、平成25年度に要綱の見直しを行い、より効果のある事業にする。

基本情報	コード	名称	事業類型	I	ソフト事業	会計区分コード	01	07	01	02	332	51
	事業名	0485-2 市民夏のにぎわいフェスタ補助金	所属	コード	名称	連絡先(記入者)						
	基本施策	45	住み人にとって魅力ある商店・商店街をつくる	160500	産業振興部商工労働課	福森 靖 43 - 2306						

概要	事業概要	市民夏のにぎわいフェスタを中心市街地で開催することにより、中心市街地内の商業の活性化を図る。						事業期間		平成 16 年度 ~ 平成 年度	
	根拠法令・要綱等					審議会・委員会等	市民夏のにぎわいフェスタ実施委員会				
	補助金支出	<input type="checkbox"/>	※支出“有”の場合要綱を記入 産業振興部関係補助金等交付要綱						分掌事務番号	12	
	対象(誰を、何を)	中心市街地内の商店				※対象件数	単位	H23実績	H24実績	H25見込	H26目標値
	成果(どうする)	中心市街地内の商店の利用者を増加させる。									
H24実施内容	市民夏のにぎわいフェスタ2012の開催にあたり、実施委員会の補助金を交付した。メインイベントである「楽市・楽座」の運営に対し、人的支援をした。										

指標	活動指標	実施委員会、担当部会の会議数	回	実績値		目標値		説明	
				H23	H24	H25	H26		
	成果指標	楽市・楽座出展団体数	団体	目標	10.0	目標	10.0	10.0	10.0
				実績	13.0	実績	15.0		
			目標	160.0	目標	160.0	160.0	160.0 (出展区画160ブース)	
			実績	230.0	実績	257.0			

コスト	コスト(千円) ※基金の充当はしないでください。										
	[収入]	項目	H23決算額	H24決算額	H25当初額	H26計画額	H27計画額	H28計画額	H29計画額	特記事項記入欄(特定財源の名称等)	
		使用料・手数料									
	国費 (補助率)										
	県費 (補助率)										
	地方債										
	その他										
	合計(A)	0	0	0	0	0	0	0	特記事項記入欄(積算基礎等)		
	[支出]	事業費	市民夏のにぎわいフェスタ補助金	1,300	1,300	1,300	1,300	1,300	1,300	1,300	特記事項記入欄(有資格者の状況等)
		小計(B)		1,300	1,300	1,300	1,300	1,300	1,300	1,300	
人件費		正規職員	人数	0.2人	0.2人	0.2人	0.2人	0.2人	0.2人	0.2人	
臨時・嘱託・再雇用職員		人数	人	人	人	人	人	人	人		
小計(C)		1,136	1,155	1,155	1,155	1,155	1,155	1,155	1,155		
合計(D=(B+C))		2,436	2,455	2,455	2,455	2,455	2,455	2,455	2,455	特記事項記入欄(歳入確保の取組等)	
[収支]	一般財源充当額(D-A)		2,436	2,455	2,455	2,455	2,455	2,455	2,455		
	(うち繰越金)										
	※前年度比		—	19	0	0	0	0	0		
	対象者あたり一般財源充当額										

必要性	4. 市民にとっての必要性は高いが、多額の投資が必要、あるいは事業リスクや不確実性が存在するため、民間だけではその全てを負担しきれず、これを補完する事業		
有効性	※廃止したときの影響	達成度	※未達成事項記入欄
	中心市街地の活性化に十分寄与していないが、廃止した場合一層中心市街地が疲弊する恐れがある。	やや遅れ	中心市街地の商業の活性化
関与の妥当性	協働の状況など		上野商工会議所、上野西部・南部住民自治協議会、中心市街地の商店街などと実施委員会ならびに各担当委員会(楽市・楽座、警備・清掃、広報)を組織している。
実施方法(該当するもの全て)	<input type="checkbox"/> 委託・指定管理(公募・競争)	<input type="checkbox"/> 負担金・補助金・交付金	※委託内容及び委託先の存在
	<input type="checkbox"/> 委託・指定管理(非公募・随意)	<input type="checkbox"/> 直接実施(契約・交付事務を除く)	
昨年度記載した改善策	平成25年度までに個店での取り組みが困難な場合には、商店街(会)での取り組みを推進していく。	左記改善策への取組状況	【状況】 【詳細】 計画のとおり進んでいない。 事業実施にあたり各商店街(会)が分担して運営を行っているため、商店街(会)での商業活動が実施されていない。
現時点における課題及び課題に対する改善策	事業目的のひとつである中心市街地の活性化(継続的な)に寄与していない。事業目的を中心市街地の商業者に周知する。		
今後の方向性	担当課長氏名	方向性	理由
	船見 くみ子	現状維持	まちなかのにぎわいを回復し、商業活動を活性化させることを成果目標に支援を行っていく。

基本情報	コード	名称	事業類型	I	ソフト事業	会計区分コード	会計	款	項	目	細目	細々目
	0567	中心市街地活性化事業					01	08	04	02	371	54
	事業名	0567	中心市街地活性化事業	所属	190800	建設部中心市街地推進課	連絡先(記入者) 藤森 大輔 22 - 9825					
基本施策	45	住む人にとって魅力ある商店・商店街をつくる										

概要	事業概要	平成20年11月に内閣総理大臣の認定を受けた、伊賀市中心市街地活性化基本計画(以下「中活計画」)に基づいて実施される事業が円滑に進捗するよう伊賀市中心市街地活性化協議会(以下「中活協」)の活動を助成し、進行管理を行う。 また、現計画の認定期間終了に際し、成果の検証と2期計画策定に向けての検討を行う。						事業期間				
	根拠法令・要綱等	中心市街地の活性化に関する法律、伊賀市中心市街地活性化基本計画			審議会・委員会等		伊賀市中心市街地活性化協議会 中心市街地活性化推進会議					
	補助金支出	<input type="checkbox"/> 有	※支出“有”の場合要綱を記入 建設部関係補助金等交付要綱						分掌事務番号 1			
	対象(誰を、何を)	市民、来街者、観光客			※対象件数	単位	H23実績	H24実績	H25見込	H26目標値		
	成果(どうする)	中活計画に盛り込まれた事業を展開することにより、中心市街地の人口が増、交流人口が拡大し、にぎわいを創出する。										
H24実施内容	<ul style="list-style-type: none"> 中心市街地活性化協議会活動助成(2,500千円) 通行量調査業務委託(7月、3月) 											

指標	項目	単位	実績値				目標値		説明
			H23	H24	H25	H26			
活動指標	通行量調査の実施	回	目標 2.0 実績 2.0	目標 2.0 実績 2.0	2.0	2.0	市街地定点における歩行者・自転車の通行量調査(7月・3月)		
成果指標	歩行者・自転車通行量	人/日	目標 4,043.0 実績 2,223.0	目標 4,270.0 実績 3,359.0	4,270.0	4,270.0	毎年3月定点調査結果		

コスト	項目	コスト(千円) ※基金の充当はしないでください。								特記事項記入欄(特定財源の名称等)
		H23決算額	H24決算額	H25当初額	H26計画額	H27計画額	H28計画額	H29計画額		
[収入]	使用料・手数料									特記事項記入欄(積算基礎等)
	国費(補助率)									
	県費(補助率)									
	地方債									
	その他									
	合計(A)	0	0	0	0	0	0	0	0	
[支出]	進行管理委託料(通行量調査)	140	210	210	210	210	210	210	210	特記事項記入欄(有資格者の状況等)
	中活協活動助成金	2,500	2,500	2,500	2,500	2,500	2,500	2,500	2,500	
	計画策定業務委託料			3,960						
	その他事務経費	89	139	304	150	150	150	150	150	
	小計(B)	2,729	2,849	6,974	2,860	2,860	2,860	2,860	2,860	
人件費	正規職員	人数	0.5人	0.5人	2.0人	1.0人	0.5人	0.5人	0.5人	特記事項記入欄(歳入確保の取組等)
		人件費	2,841	2,889	11,554	5,777	2,889	2,889	2,889	
	臨時・嘱託・再雇用職員	人数	0.0人	0.0人	0.0人	0.0人	0.0人	0.0人	0.0人	
		人件費								
	小計(C)	2,841	2,889	11,554	5,777	2,889	2,889	2,889		
	合計(D=(B+C))	5,570	5,738	18,528	8,637	5,749	5,749	5,749		
[収支]	一般財源充当額(D-A)	5,570	5,738	18,528	8,637	5,749	5,749	5,749		
	(うち繰越金)									
	※前年度比	—	168	12,791	△ 9,891	△ 2,889	0	0		
	対象者あたり一般財源充当額									

必要性	7. 民間のサービスだけでは市域全体に望ましい質・量のサービスが確保できず、これを補完・先導する事業		
有効性	※廃止したときの影響	達成度	※未達成事項記入欄
中心市街地の人口流出、商店・商店街の衰退が進む等影響が大きい。	やや遅れ	中活計画には行政主体、民間主体、官民協働の事業が記載されているが、民間事業の進捗にやや遅れが見られる。また、設定された数値目標についての達成度が低い。	効率性
			※事業を行うにあたって非効率な点(実施主体、システム等)
			中活協の事務局を担う株式会社まちづくり伊賀上野の人員・人材が不足しており、事務作業に時間を取られ、事業の企画や実施に傾注できていない。
関与の妥当性	協働の状況など		
	中活計画は、市が策定し、計画には民間主体の事業、官民協働の事業を記載し、官民が一体となって事業を実施することにより活性化を図る必要がある。このため、中活協を通じて官民協働で進行管理プロジェクト会議を開催し、逐次進捗の報告、意見交換等を実施している。		
実施方法(該当するもの全て)	<input type="checkbox"/> 委託・指定管理(公募・競争)	<input checked="" type="checkbox"/> 負担金・補助金・交付金	※委託内容及び委託先の存在
	<input type="checkbox"/> 委託・指定管理(非公募・随意)	<input type="checkbox"/> 直接実施(契約・交付事務を除く)	伊賀市中心市街地活性化協議会
昨年度記載した改善策	中活計画に記載された事業について、進捗が図られているものの、数値目標の上方改善につなげていない現状があり、タウンマネージャーらのコーディネートにより、実施事業が成果につながるような取り組みが求められている。	左記改善策への取組状況	【状況】 【詳細】 計画のとおり進んでいる。
		平成24年度において、タウンマネージャーを中心に地域商業活性化戦略策定に向けた勉強会を実施し、第2期中活計画認定に向けて検討を進める材料として中活協に提案される予定。また、市街地再開発事業により整備したハイトピア伊賀の認知度が高まり、平成25年3月に実施した通行量調査では歩行者・自転車の通行量が大幅に上方改善されている。	
現時点における課題及び課題に対する改善策	平成25年度中に第2期中活計画の策定作業を進める必要があるが、スケジュールがタイトである。中活計画認定に重要な要素となる伊賀市庁舎、芭蕉翁記念館、上野図書館等の方向性が決まっておらず、結果次第では中活認定の可否に影響が及ぶ。		
今後の方向性	担当課長氏名	方向性	理由
	東 弘久	拡大・充実	中心市街地の活性化に向けての基本的な方向性は現状維持であるが、平成25年度においては現計画の検証及び第2期計画の検討作業が煩雑となるため、官民一体となって総力を結集し、取り組む必要がある。